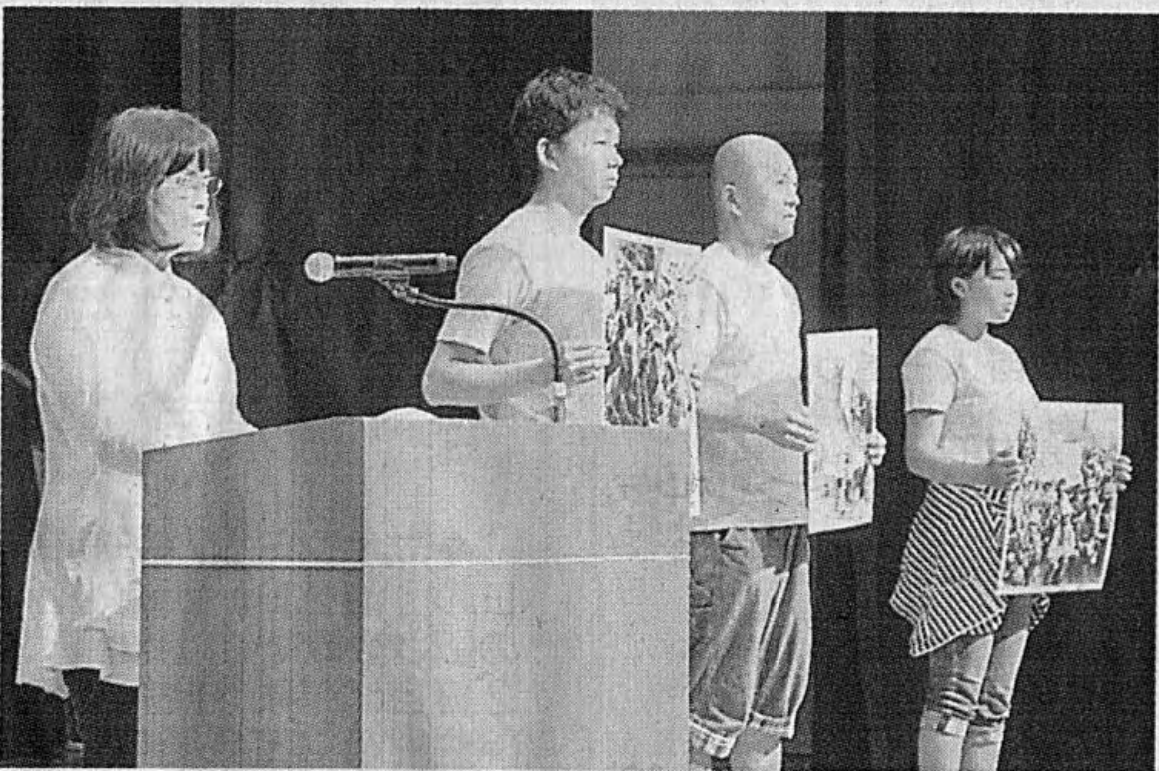


「石木ダム反対」支援拡大を 佐世保で集会 弁護士ら講演

石木ダム建設反対運動への支援を
呼び掛ける岩下さん(左)
|| 佐世保市、アルカスSASEB
イベントホール



県と佐世保市が東彼川棚町に計画する石木ダム建設事業について、反対の立場で考える集会が4日、佐世保市三浦町のアルカスSASEBであり、地権者を支援する弁護士らが講演。同事業の問題点を挙げ、あらためてダム反対を訴えた。市民団体でつくる実行委が開き、約350人(主催

者発表)が集まった。

「石木ダムの真実」と題して講演した石木ダム対策弁護団副団長の板井優弁護士は、同ダム建設の目的とされる治水・利水に根拠がないとして、県や佐世保市を批判。地元の反対で建設中止となった熊本県の川辺川ダムを例に「(ダム建設の)流れを防ぐことはでき

る」と強調した。

反対派を支援する米アウトドア衣料品ブランド「パタゴニア」日本支社の辻井隆行支社長も特別講演し、ダム建設には多大な税金が投入される点を指摘。「プロセスの透明性が重要。お金の使い道を決めるのは市民、との世論を醸成したい」と述べた。

地権者を代表して岩下すみ子さん(66)が「必要のないダムのために、犠牲になるものですか」と訴え、支援拡大を求めた。

(川邊壮一郎)